

【美術のまち構想】

「中村橋の手ざわりを表現しよう」ワークショップ

“中村橋”の

手
さ
わ
り

を 表 現 し ょ う !

令和8年1月31日（土）

13:00-16:30

会場：練馬区立美術館 創作室
練馬区貫井1丁目36番16号

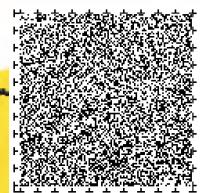
定員：15名（3名5グループ予定）

※定員を超える場合は、抽選となります

参加費：無料

対象：小学生以上

下のマークは音声コードです。
専用アプリ（Uni-Voice）で読み取ると、
ワークショップの概要を音声で聞くことができます。



ワークショップの当日の予定

1. レクチャー

美術のまち構想やワークショップの趣旨、講師について紹介します。

2. まち歩き

美術の森緑地や動物モニュメント、街の壁に触れたり、匂い、音でまちを感じます。

3. ディスカッション

アトリエ光島特製の「手ざわりカード」を使ってまちで感じたことをディスカッションします。

4. 制作

まちで感じたことをさまざまな手ざわりの素材でグループごとに制作し、表現します。

5. 発表

完成した作品に触れながら、まちで感じたこと、制作に込めた思い、工夫を語り合います。

ワークショップ講師

アトリエ光島

光島貴之（みつしま たかゆき）

1954年京都府生まれ。10歳頃に失明。鍼灸を生業としながら、1992年より粘土造形を、1995年より製図用ラインテープとカッティングシートを用いた「さわる絵画」の制作を始める。2012年より「触覚コラージュ」「釘シリーズ」などの新たな表現手法を探求している。2020年、ギャラリー兼自身の制作アトリエとなる「アトリエみつしま」を立ち上げ、見えない人・見えにくい人・見える人がアートに親しめる場所づくりを進める。

撮影者：守屋友樹



平田晃久建築設計事務所

平田晃久（ひらた あきひさ）

2005年に平田晃久建築設計事務所を設立。現、京都大学教授。主な設計実績に、2017年 太田市美術館・図書館。2021年 八代市民俗伝統芸能伝承館など。主な受賞歴は、2012年 第13回ヴェネチア・ビエンナーレ 国際建築展金獅子賞（協働受賞）や、2018年 村野藤吾賞、BCS賞、2022年 日本建築学会賞など。



ワークショップ応募方法

区HPでの電子申請、電子メール、往復ハガキで①催し名「ワークショップ『中村橋の手ざわりを表現しよう』」、②住所、③電話番号、④参加人数、⑤氏名（ふりがな）（全員分）、⑥年齢（全員分）、⑦その他（参加にあたり配慮が必要な事項等）を記載のうえ令和8年1月22日（木）（必着）までにお申込みください。

電子メール：bijutsu-machi01@city.nerima.tokyo.jp

美術館再整備まちづくり担当係

ハガキ：〒176-8501 東京都練馬区豊玉北六丁目12番1号

練馬区役所 美術館再整備まちづくり担当係へ

電子申請：区のホームページでの電子申請は、右記のQRコードを読み取ってください。

▼電子申請



お問い合わせ先

練馬区地域文化部 美術館再整備まちづくり担当課 美術館再整備まちづくり担当係

TEL 03-5984-1288

E-mail bijutsu-machi01@city.nerima.tokyo.jp

※本ワークショップに関するお問い合わせは、上記にお願いいたします。

サンライフ練馬、練馬区立美術館、練馬区立貫井図書館へのお問い合わせはご遠慮ください。